

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和2年5月28日

(宛先)奈良市長



提出者

住所 大阪府大阪市北区堂島2丁目1番16号

氏名 株式会社フジタ 大阪支店
執行役員支店長 前淵 広之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6348-4510

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項及び奈良市産業廃棄物処理計画作成指導要綱第6条の規定に基づき、平成元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社フジタ 大阪支店		
事業場の所在地	大阪府大阪市北区堂島2丁目1番16号		
事業の種類	日本標準産業分類の区分 06 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成31年4月1日 から	令和2年3月31日	まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	473.4t	全処理委託量	473.4t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	473.4t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

※事務処理欄

【集計用シート】産業廃棄物 処理計画実施状況報告書
黄色セル内の該当箇所に入力してください。
(入力内容は品目別のシートに反映されます)

氏名又は法人名 株式会社アスタ 大阪支店 電話番号(代表) 06-6348-4510
 報告担当部署 廃材処理部

廃棄物の種類	排出量	自前処理を要しない				自前処理を要する				処理委託先の内訳						健康型処理業者への委託(処理委託書)の最終処理量	必須入力
		中間処理を含まない		中間処理を含む		中間処理を含まない		中間処理を含む		再活用業者	熱回収認定業者	中間処理業者	健康型処理業者以外の委託業者	埋立処分業者			
		再活用	中間処理	中間処理	中間処理	中間処理業者の委託先(委託先)の再活用	中間処理業者の再活用	中間処理業者の委託先(委託先)の再活用	中間処理業者の再活用								
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	7914	0	0	0	0	0	0	0	0	7914	0	0	0	0	0	0	7914
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類	179	0	0	0	0	0	0	0	0	179	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	179	0	0	0	0	0	0	0	0	179	0	0	0	0	0	0	0
木くず	15.4									15.4	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず										0							
金属くず										0							
ガラスくず、コンクリートくず、及びびん類										0							
がれき類										86.2	0	0	0	0	0	0	0
その他										721.1	721.1	0	0	0	0	0	0
合計	8633.2	0	0	0	0	0	0	0	0	8633.2	8633.2	0	0	0	0	0	7914

(注1)トナリ系は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載可。
 (注2)上記産業廃棄物の品目以外の品目について排出実績があった場合は、「その他」欄に追加入力するとともに、数値面「その他」のシートを記載してください。

単位:t

(産業廃棄物の種類:汚泥)

計画の実施状況

「②入力シート」に入力して下さい。
(入力内容は本シートに反映されます)

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量 0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 0

① 排出量 7914

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 0

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 7914

項目	実績値
①排出量	7914
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	7914
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7914
⑫再生利用業者への処理委託量	7914
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑥ 自ら中間処理した後の残存量 0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 0

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 0

⑦ 自ら中間処理により減量した量 0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 7914

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 7914

単位:t

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

計画の実施状況

「②入力シート」に入力して下さい。
(入力内容は本シートに反映されません)

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量
0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

④ 自ら中間処理した量
0

⑦ 自ら中間処理による減量した量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
17.9

① 排出量
17.9

項目	実績値
① 排出量	17.9
② + ③ ④ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③ + ⑥ ⑧ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	17.9
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	17.9
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑬ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
17.9

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑫ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

単位:t

(産業廃棄物の種類: 木くず)

「②入力シート」に入力して下さい。
(入力内容は本シートに反映されます)

有償物量

不要物等発生量

排出量
① 15.4

② 自ら直接再生利用した量
0

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

項目	実績値
①排出量	15.4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	15.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	15.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

④ 自ら中間処理した量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
15.4

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
15.4

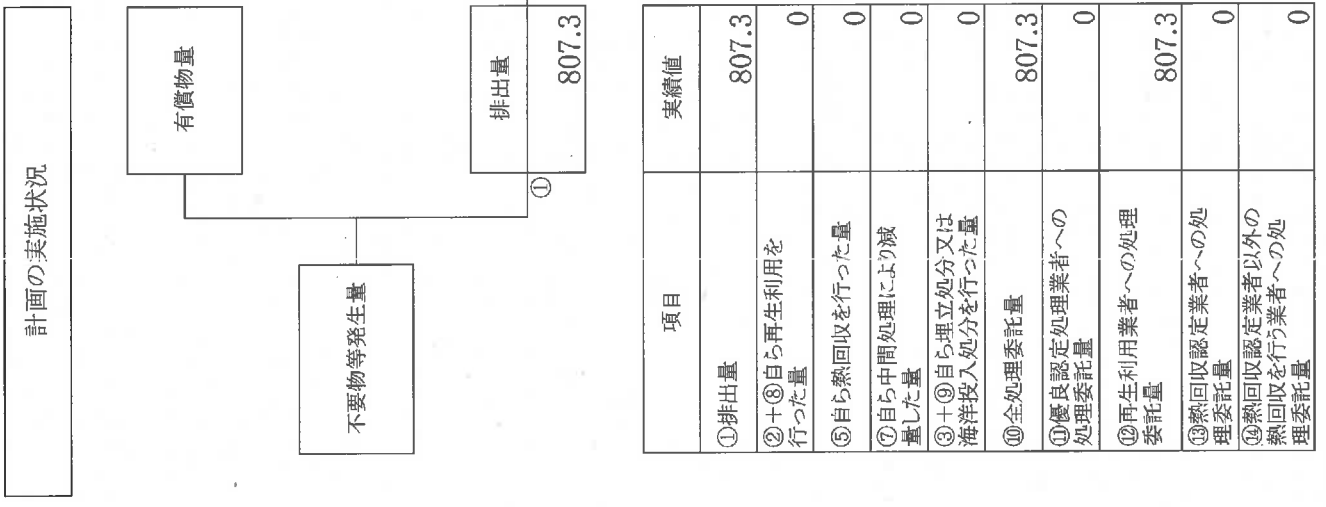
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

単位:t

(産業廃棄物の種類: がれき類)

「②入力シート」に入力して下さい。
(入力内容は本シートに反映されます)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

単位:t

「②入力シート」に入力して下さい。
(入力内容は本シートに反映されます)

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量
0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0

① 排出量
78.6

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量
0

④ 自ら中間処理した量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0

③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
0

⑩ 全処理委託量
78.6

⑪ 優良認定処理業者への処理委託量
0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑫ 再生利用業者への処理委託量
78.6

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

⑬ 熱回収認定業者への処理委託量
0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

